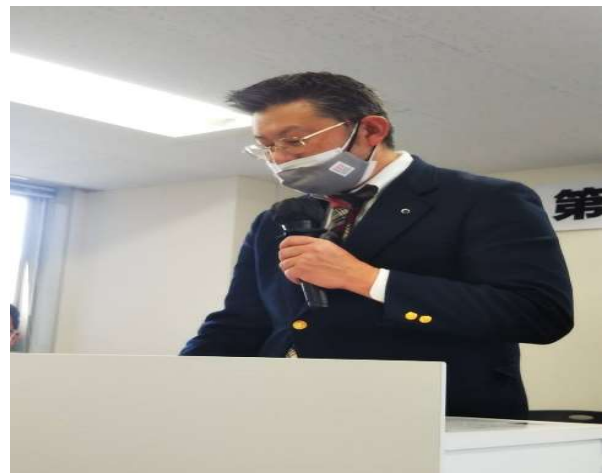


第12回 JR 貨物連合定期大会開催



JR 連合荻山会長



南関東ロジ労組山田委員長

2月5日、第12回JR貨物連合定期大会が博多市内で開催され、2022春闘を含め今後の活動方針を満場一致で可決しました。

大会を代表して挨拶に立った大杉会長は、「グループ会社においても新人事制度が導入されたが、満足いく制度なのか精査を続けていかなければならない。山陽本線において発生した脱線事故はJR貨物存続を左右する非常に危険な事故であり、今一度、安全最優先の取り組みをお願いしたい。多くの政策課題があるがJR連合と共に取り組んでいくとことをお約束する」と述べ、来賓のJR連合荻山会長からは、安全・コロナ・2022春闘・政策・政治を主に「JR貨物における政策課題は、青函共用走行問題・アボイダルコスト改定・税制特例等、多岐にわたり、今後皆さんと共に取り組んでいく。安全問題では、多くの重大労災が発生していることを認識して頂き、2022春闘ではJR7単組と全てのグループ労組が一致団結して取り組んでいく」と発せられました。

質疑では、政策課題の質問が多くあり、JR連合より、現時点での考えを説明して頂きました。定期大会終了後、第8回安全デスカッションを行い、各ロジ労組の現状や山陽本線脱線事故で認められた「偏積」について議論し、JR貨物会社に対し、偏積防止を強く訴えていくこととしました。



交通共済 **ニクス**

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

**共済でひろがる、
安心できる毎日。**

家族の幸せを大きくサポート
交通災害共済/生命共済/入院共済
規約引換団体：明治火災生命保険相互会社